

平成26年度 岡山県学力・学習状況調査結果の概要

平成26年7月
高梁市教育委員会

〔調査実施日 平成26年4月22日(火)〕

〔調査実施生徒数 中学校第1学年 214人(前年比-19)〕

学力調査の結果〔正答率集計表〕

	総合			基礎			活用		
	高梁市	県	差	高梁市	県	差	高梁市	県	差
国語24	71.6	71.4	0.2	74.1	75.1	-1.0	66.2	63.4	2.8
国語25	56.2	58.0	-1.8	59.6	62.0	-2.4	40.8	40.1	0.7
国語26	67.4	67.4	0	73.7	74.0	-0.3	44.7	43.6	1.1
社会24	55.6	58.7	-3.1	55.9	59.2	-3.3	54.6	57.0	-2.4
社会25	63.2	62.4	0.8	69.1	66.8	2.3	52.2	54.3	-2.1
社会26	54.0	53.9	0.1	54.9	54.0	0.9	53.4	51.0	2.4
数学24	61.6	63.2	-1.6	70.5	72.7	-2.2	39.5	39.6	-0.1
数学25	44.9	46.2	-1.3	50.8	52.1	-1.3	29.9	31.4	-1.5
数学26	59.4	57.7	1.7	61.0	59.6	1.4	53.4	51.0	2.4
理科24	52.9	54.9	-2.0	56.9	60.0	-3.1	44.9	44.5	0.4
理科25	43.9	46.0	-2.1	54.7	57.0	-2.3	30.7	32.6	-1.9
理科26	51.7	52.4	-0.7	57.9	59.3	-1.4	33.0	31.8	1.2
総合24	60.4	62.1	-1.7	64.4	66.8	-2.4	51.3	51.1	0.2
総合25	52.2	53.2	-1.0	58.7	59.5	-0.8	38.5	39.6	-1.1
総合26	58.1	57.9	0.2	61.9	61.7	0.2	45.8	45.0	0.8

①市の平均は、理科を除き県平均は上回り、4教科総合においても、県平均を0.2ポイント上回った。課題である数学と理科だが、数学においては、基礎・基本の定着と活用の両方とも年々改善が見られる。理科についても、-2.1から-0.7となり、1.4ポイント縮まった。

無解答率は県より低く、一定の改善が見られるが、根拠を明らかにして自分の考えを記述したり、複数の資料から必要な情報を読み取り、それを基に自分の考えを説明するなどの設問においては依然課題が見られる。

②授業において、「学習のねらいや目標を提示する」「自分の考えをもつ時間を確保する」「授業の終わりに学習のまとめや振り返りをする」などの設問には肯定的な回答をしている生徒が9割前後おり、県平均も上回り、県下で高いレベルを維持している。また、授業の進め方と正答率に相関が見られることから、このような授業改善が学力の向上に結びついていくと考えられる。

③家庭での学習習慣については、平日3時間以上テレビやDVDを見ている生徒が41.0%（昨年度比4.1%増）、平日1時間以上テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯も含む）をしている生徒は49.2%（県60.0%）と増加傾向であるが、平日の家庭学習の時間が1時間未満の生徒が23.7%（昨年度比3.8%減）と減少傾向にある。一定の改善は見られるが、引き続き課題である。中学校区で生活点検の内容や実施日をそろえるなどの工夫をされているが、特に、メディアとの関わり方についての指導が望まれる。

予習をする生徒が54.4%、復習をする生徒が68.4%と県平均を上回っているが、横ばいである。今後は、家庭学習の量や質について改善し、基礎基本の定着につなげたい。